

# 高知県 PTA 新聞

〈発行所〉  
高知県小中学校 PTA 連合会  
塩見記念青少年プラザ内  
高知市小津町6-4  
TEL 802-7004  
FAX 802-7009  
E-mail  
ken-p@kochi-pta.com

〈発行責任者〉  
北山幸治  
広報委員会

## 第五十四回 日本PTA四国ブロック 研究大会高知大会開催

高知県小中学校PTA連合会副会長 小松 和也



令和七年十月十八日(土)、高知県立県民文化ホールオレンジホールにて、四国四県より約六〇〇名の参加者が集い、第五十四回日本PTA四国ブロック研究大会高知大会が開催されました。

大会には高知県副知事 西森裕哉さま、高知県教育委員会教育長 今城純子さま、公益社団法人日本PTA全国協議会副会長 宿南洋一さま、高知市長 桑名龍吾さま、高知市教育委員会教育長 永野隆史さまのご臨席を賜りました。四国ブロックPTA協議会北山幸治会長が、大会スローガン「ALL FOR ONE」一人ひとりが輝ける未来のためにと、子どもたちのしあわせを願い、当面している共通の課題について研究協議するとともに、PTA会員及び関係者との交流と理解を深め、新しい時代の要請に応えるPTA活動を積極的に推進

していくことを力強く宣言し、大会が始まりました。開会行事では、ご祝辞、歓迎のことばの後、七名の方が四国ブロックPTA協議会会長表彰を受賞され、感謝状を二名の方が受け取りました。高知県からは長年、四国ブロックPTA協議会事務局長として支えられた小野登和さんが会長表彰を受賞されました。おめでとうございました。

午後からの記念講演では、元公益社団法人日本PTA全国協議会副会長、前佐賀県PTA連合会会長である江田明弘氏を講師にお招きし、「今なぜPTAなのか」を演題にご講演いただきました。私自身、PTA活動に携わりながらも「PTAって何だろう」と考える時があり、江田氏の講演を聞いて、これからの子育てやPTA活動を行う上で大変ありがたいヒントをいただきました。



子どもが保育園や幼稚園に入園すると、そこには保護者会という組織があり、小学校、中学校に入学するとPTAという組織が存在します。私が保護者会に加入した時は「正直、何をすればいいのだろう。めんどうきそうだな」と思いつつも、子どもたちのため、周りの保護者もやっていると自分も何かやらないとという気持ちでした。講演のなかで、江田氏の嫌いなPTA活動でよく聞くワードに「子どもたちのために」「まずは自分たちが楽しもう」というものがありました。私は、PTA活動に携わっていくなかで、まさに江田氏が嫌いなワードである「子どもたちのため。せっかくなら楽しんでやろう」という考え方になっていたので、この言葉が嫌いなこと、この言葉が嫌いなこと、なぜ嫌いなのだろうかという疑問に思い、話に引き込まれました。江田氏の考えは、子どもたちのためにPTA活動に取り組むということとは大前提としてあるけれど、それとともに保護者である親(自分)のためでもあるということでした。目からうろこが落ちる思いでした。確かに、おとんだからといって成長を止めていいわけではありません。PTA活動を通して、さまざまな取り組みや活動を行うことで、保護者である私たち自身の成長に繋がるということを江田氏は伝えてくれました。

今大会のスローガンであります「ALL FOR ONE」一人ひとりが輝ける未来のために「は子どもたちだけでなく、保護者、先生方、地域の方々、全ての人に向けています。家庭、学校、地域が互いに支え合い、ともに成長できる共育を目指して、一人ひとりが輝ける未来を創っていきましょう。

最後になりますが、今回の研究大会に関わってくださった全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。